

## 「信仰による行い」 ～信じ続ける～

ヤコブ 2:14～26

マタイ 8:5～15、9:20～25

もうすぐ、4月になり新年度が始まります。私たちの日常生活は心機一転していきますが、信仰生活も同じように歩みだしていきたいのです。私たちの住んでいる地球を見てみますと、太陽からの距離や1日の時間などのすべてが完全に創造されています。その完全の中で自由に歩んでいます。そのような中で私たちは教会に来始めました。ある時イエスを心に迎え入れて信仰生活をスタートさせました。それは外側からはドアノブのない扉をイエスがノックしています。内側にいる私たちがイエスを招き入れる事が黙示録に書かれています。私たちは心にイエスをお迎えした後、どのように歩んでいるでしょうか。イエスと共に歩み信仰を持ち続けているでしょうか。それとも人からの言葉や周囲からの言動により信じることをやめていないでしょうか。今まで信仰による行いとして何かしていたのに、それをやめてしまっていないでしょうか。聖書には神のなさることは時にかなって相応しいとありますが、私たちの目にはうれしくないと思われる事や疑問に思うことともあります。そのような時にこそ、私たちに信仰があるのか、それとも失っているのかを試されています。私たちが目先に起こる事柄だけに捕らわれていると信仰を失いやすいものです。敵は私たちが前進することを妨げるために、希望を失わせるようなことをしてきます。願っているものが大きければ大きいほど、神への期待が大きければ大きい時ほど、かなわない時の反動が大きくなります。しかし、ここで私たちが願っているものが、自分の欲と言えるものであるか吟味する必要があります。私たちの人生の中では意図しない事が起こるものです。その時にこそ、神を信じる心を持ってほしいのです。私たちが神を愛するが故に神が働いてすべて益として下さるのです。信じる心が失っているのであれば、まずは回復する必要があります。別の言葉では信じていることに対して妥協や曲げていませんか。敵である悪魔は私たちの信じる力を失わせたいだけなのです。信じる事は神が造った被造物の中で人間にだけに与えられている特別な能力なのです。聖書にはイエスが十字架にかかる前、ペテロに対して信仰が回復したら兄弟たちをカブけるようになってほしい(ルカ23:22)と祈りましたと記されています。イエスはペテロが良くなるようにと信じています。私たちの人生の中で新しい道へ歩みだす事ができなくなる事よりも、神を信じる、人を信じる、神の業を信じるというような信じる心を失う事が恐ろしいのです。今日読んだ聖書箇所にも長血の女が出てきます。この女性は12年間病気になっていました。医者からも見離された状態でしたが、「イエスの衣のすそにでも触れることができればきっと直る」という信仰を持っていました。ここが大切なポイントです。どんな悪い状況であってもまず①信じ、②信じた行動を成し遂げた③結果を受け取れたということなのです。神は信じぬく事、願ったことが叶うまで信じているかをみているのです。私たちは神に願った時に、示された方法だけではなく、人間的に別の方法も用意してはいませんか。その保険のような道を作っている限り、信じ、信じた行動だけをする事にはならないのです。神は人間的な方法で上手くいったとしても、後になって信仰を失わせるような事はしないからです。重要な事は信じる人は実を得るまで信じるつづけることと、その実に近づく行いが必要になるのです。私たちは行いある信仰が求められています。行う方法にも注意が必要です。百人隊長の部下の癒しはイエスによる癒しだけを願っている事が分かります。その姿勢に学びたいのです。解決するために信じているなら、願った通りの事をしましょう。信じ続けるには忍耐が必要です。その忍耐が私たちの成長につながるのです。神は様々なことを通して成長する事を願っています。棚からぼた餅のような信仰ではなく、御丈に成長するような信仰生活を歩んでいきましょう。信仰の父と呼ばれたアブラハムはイサクを捧げなさいといわれた時、目先のことでなく、神との約束である海の砂、空の星のようにすると言われた事に心をとめていました(ローマ4:3、ヘブル11:6、10:38) 私たちもどんな状況においても神への信仰を持って歩みだしていきたいのです。目の前にある小さな事でも私たちにできることから始めていきましょう。私たちの行いによって信仰は完成します。何でも恐れずにすることが大事です。この恐れずにするものに対して妨害するものとして、初めての問題、妥協、裏切り、あきらめ、疑い、失望、恐れ、心配、他人事などがあります。これらによってやる気を失うことなく、本当の信仰者となりましょう。本当の信仰者とは①1度、2度ではあきらめない。1度失敗したとしてもそれで人生が終わってしまうではありません。何度でもあきらめず前へと歩いていきましょう。神に期待し進んでいきましょう。②信じている事を行う。神に言われている事を素直に行いましょう。行う事が私たちの信仰の表れです。信じ続けていきましょう。③先を見る。目先の事だけをみて努力をしないようにしましょう。アブラハムは空の星、海の砂となる子孫を見ていた。先を見ているからこそ、イサクを捧げるまでの行いが伴いました。目先の事に捕らわれず、先を見ていきましょう。神は私たちの将来の計画を見えています。信じ続け、時に忍耐し、すべき事を行い続ける時、結果として大きな実を見ることが出来ます。信じ続けていきましょう。